

廃炉・汚染水対策現地調整会議 進捗状況管理表

件名	中長期ロードマップにおけるマイルストーン	実施事項	進捗状況	2018年	2019年						2019. 7月以降	
				12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
汚染水対策	汚染水発生量を150m ³ /日程度に抑制(2020年内)	陸側遮水壁の設置・運転	・陸側遮水壁完成 維持管理運転中	維持管理運転								
		サブドレン浄化装置強化対策	・NO. 30/37/57復旧完了									
		2. 5m盤汲み上げ抑制対策	<3号機T/B屋根対策> ・ヤード整備工事中	ヤード整備工事								□□□
	浄化設備等により浄化処理した水の貯水を全て溶接型タンクで実施(2018年度)	タンクの増設(新設・リプレース)	・タンクリプレース工事中 目標貯蔵量: 2020年1365千m ³	<溶接タンク貯蔵量>	▼+15. 2千m ³	▼+12. 7千m ³	▼+12. 3千m ³	▼+9. 8千m ³	▼+33. 4千m ³	▼+10. 2千m ³		
	【滞留水処理】 1. 2号機間及び3. 4号機間の連結部の切り離し(2018年内) 建屋内滞留水処理完了(2020年内)	建屋滞留水処理	<干渉物撤去・床面露出用ポンプ設置(被ばく低減対策含む)> <油分回収(3号機、4号機タービン建屋最下階)> <ダスト対策(地下1階(最下階))> <建屋滞留水水位低下> <建屋滞留水処理> <フランジ型タンク内汚染水処理>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ステップ1 : フランジ型タンク内のS₂処理水を処理し、フランジ型タンクの貯蔵リスクを低減。(2018年11月完了) ステップ2 : 既設滞留水移送ポンプにて水位低下可能な範囲(TP-1200程度まで)を可能な限り早期に処理。また、フランジ型タンク内のALPS処理水等も可能な限り早期に移送。(2019年12月目標) ステップ3 : 2・4号機内の滞留水移送ポンプにて水位低下を行い、通過するT/B等の滞留水水位を低下。通過しないIC/B箱については、仮設ポンプを用いた水抜き作業。(2020年3月目標) ステップ3 : 床ドレンサンプ等に新たなポンプを設置した後、床面露出まで滞留水を処理し、循環注水を行っている1~3号機原子炉建屋以外の滞留水処理を完了。(2020年度中目標) </div> <干渉物撤去・床面露出用ポンプ設置(被ばく低減対策含む)> <油分回収(3号機、4号機タービン建屋最下階)> <ダスト対策(地下1階(最下階))> <建屋滞留水水位低下> <建屋滞留水処理> <フランジ型タンク内汚染水処理>								
—	排水路対策	・K排水路、B・C排水路、A排水路、物揚場排水路清掃実施中	排水路清掃(K排水路、B・C排水路、A排水路、物揚場排水路)(適宜継続実施)									
プール燃料取り出し	1号機燃料取り出しの開始(2023年度目標)	1号機プール燃料取り出し	・北側ガレキ撤去中 ・屋根鉄骨分断中	北側ガレキ撤去 Xブレース撤去	機器ハンチ養生	屋根鉄骨分断	SFP周辺ガレキ撤去(準備含む)					□□□
	2号機燃料取り出しの開始(2023年度目標)	2号機プール燃料取り出し	・西側構台設備点検中	オペレーティングフロア残置物移動・片付け オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査 現地調査等	片付け	西側構台設備点検	オペフロ内残置物移動・片付け(2回目)					□□□ □□□
	3号機燃料取り出しの開始(2018年度中頃)	3号機プール燃料取り出し	・ガレキ撤去事前準備及び訓練、ガレキ撤去中 ・燃料取りだし訓練中	クレーン/燃料取扱機及び関連設備設置 安全点検(動作確認・設備点検) ケーブル取替	復旧後の機能確認	ガレキ撤去事前準備及び訓練、ガレキ撤去	燃料取り出し訓練	燃料取り出し 燃料取り出し訓練	燃料取り出し			□□□ □□□
	—	1/2号機排気筒解体	・実証試験中 ・準備工事(周辺設備養生等)中	実証試験 準備工事(周辺設備養生等)				排気筒事前調査	排気筒解体工事			□□□

ロードマップ達成に向けた現地課題のフォロー

